

ほほ笑み

がん教育
振り返り号

令和8年6月9日
須山中学校 保健室

6月4日に静岡県立がんセンター医師 高橋満先生をお招きし、2年生対象にがん教育を実施しました。高橋先生は須山中のご出身ということで、昨年度に引き続き、今年度も特別に授業をしていただきました。がんの基礎的な知識から治療の実際、普段の授業ではとても知り得ない内容まで、大変貴重なお話でした。



なぜがんが発生するの…？ どこからできるの…？ 原因は…？



日本のがん患者数は、年々増えていて、**男性の2人に1人、女性の3人に1人**ががんと診断されています。進行する前の早期がんであれば、**がん検診や健康診断で見つかることが多く、治療で治る確率も高い**です。

がんの治療について

手術や抗がん剤（薬）、放射線治療といった「標準治療」が、有効性が認められた現在最も勧められる治療。一方、保険が利かず、数百万という高額な「自由診療」に関する情報がネットにはたくさん出てきますが、試験では有効性が確認されていません。

静岡がんセンターの治療は世界でもトップランナー



実際に行われている高度な治療法や、治療装置とその金額には驚き…！でも、どれも保険の効く標準治療です。

「紫外線を浴びすぎるとがんの原因になると知り、自分は外で活動するスポーツをしているので気をつけたい」と、自分の身近なことから考えて、感想を伝えました。

- ・がんは普通に生活していたらならないと思っていたので、身近な病気と知って驚いた。
- ・がんになったらほとんど治らないと思っていたけど、がん検診で早く見つければ治るし、がん患者の半分は生存できるとは思っていなかった。
- ・がんになったら死んでしまうと思っていたけど、手術療法や放射線治療で、がんは不治ではなく、「長く付き合う病気」になっていることにびっくりした。
- ・おばあちゃんも自分が生まれる前にがんで亡くなってしまっていて、どうすれば大丈夫だったのかなと思ったことが何度かあった。今日の授業で、こまめな運動や紫外線にあたり続けられないなどの対策方法を知ることができたので、自分の生活習慣を見直して、これから意識して生活するようになりたい。
- ・将来たばこは吸いたくないなと思うようになり、自分の体は自分で守っていこうと改めて思った。
- ・家族にもたばこを吸わないようになど話をして、みんなが生活を見直して健康でいられるようにしたい。